

1 健康づくりと介護予防の充実

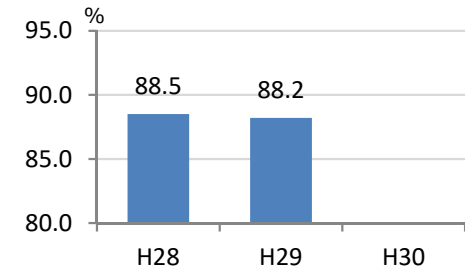
【目指す姿】

高齢になっても、一人ひとりが自分の健康状態に合わせた健康づくりや介護予防に取り組んでおり、心身ともに健康でいきいきと暮らしています。

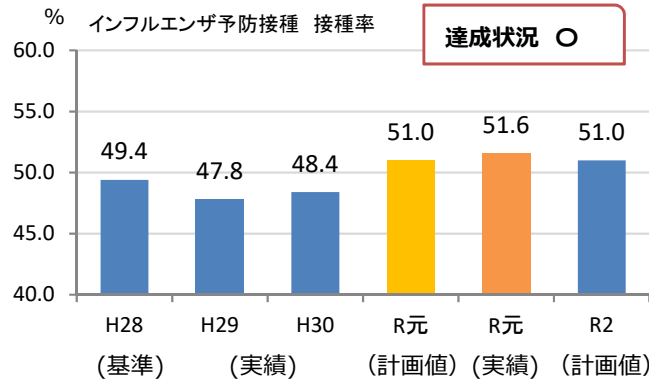
【目標値】

介護や支援を必要としていない
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

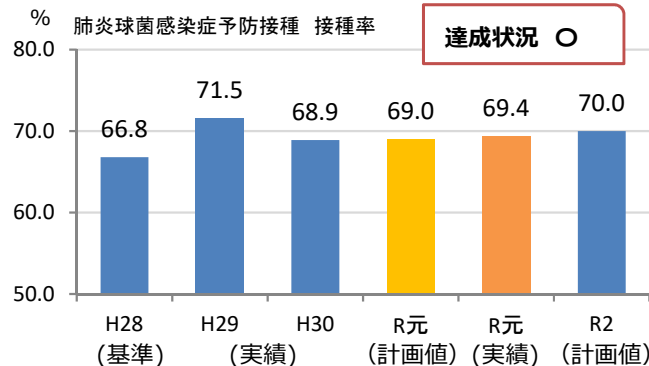


【取組み状況】

・インフルエンザ予防接種は、例年通り10月15日から12月31日の予定で開始したが、愛知県内において統一した実施期間の方針が出されたことから、終了の日を1月延長し、翌月の1月31日までに変更して実施した。市の広報及びホームページで周知を行った。

【今後の取組み方針等】

・個人の重症化予防の意味で接種するものであるが、周知方法を工夫し接種率の向上を図る。



【取組み状況】

・経過措置が令和元年度にさらに5年間延長され、今までに一度も接種したことがない方で、5歳刻みの節目に該当する方が定期接種対象者となった。
・新たに対象となった65歳全員に個別に接種券を送付、その他の年齢の定期接種対象者は申し出により接種券を送付した。
・65歳以外の方は既に定期接種の対象者になっており、前年度までに接種勧奨も実施済みのため、令和元年度は新たに対象者となった65歳の未接種者の方に、個別通知により接種勧奨を行った。また、全対象者に向けて、広報及びホームページで周知を行った。

【今後の取組み方針等】

・個人の重症化予防の意味で接種するものであるが、周知方法を工夫し接種率の向上を図る。
・新規に定期接種対象者となる65歳の方に対し、接種券を送付し、更に未接種者に対し、接種勧奨を行う。

1 健康づくりと介護予防の充実

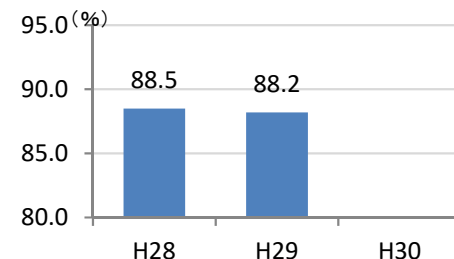
【目指す姿】

高齢になっても、一人ひとりが自分の健康状態に合わせた健康づくりや介護予防に取り組んでおり、心身ともに健康でいきいきと暮らしています。

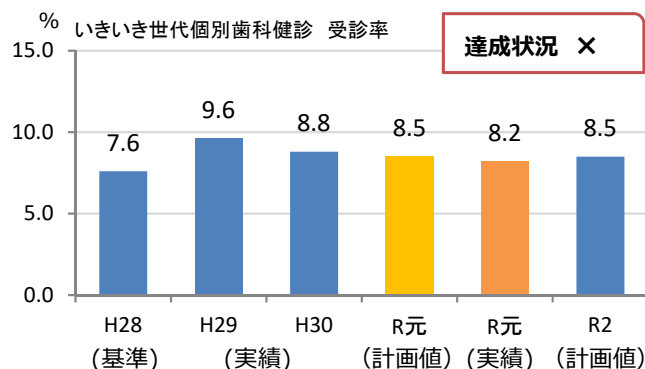
【目標値】

介護や支援を必要としていない
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

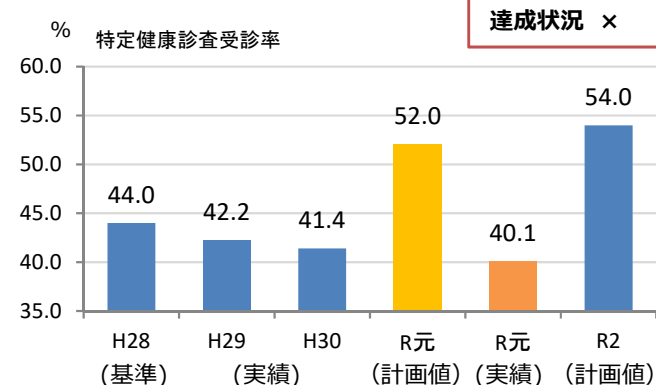


【取組み状況】

- ・令和元年度の受診率は、8.2%で計画値をやや下回る結果となった。
- ・対象年齢をこれまでの40・50・60・70歳の10歳刻みから、40・45・50・55・60・65・70・75歳の5歳刻みに拡大して実施した。
- ・定期的な歯科健診の必要性について、保健連絡員学習会や市民講座を開催し、普及啓発を行った。
- ・広報やホームページ、市フェイスブックで歯・口腔の健康に関する情報提供を行い、正しい知識の啓発を図った。
- ・「こまき健康いきいきポイント」のポイント付与対象事業に挙げており、広く参加意欲を高めることができるよう働きかけた。

【今後の取組み方針等】

- ・受診率向上に向け、関係機関と連携するなどし、定期的な歯科健診の必要性についてより効果的に周知・啓発を行う。
- ・個別通知による未受診勧奨を実施するとともに、広報やホームページ等で関連記事を掲載するなどし、受診率向上を図る。



【取組み状況】

- ・特定健康診査の受診率向上のため、従来からのハガキ勧奨（8月末）と電話勧奨（9、10月）に加え、令和元年度は新たに健診期間終了ひと月前の1月に再度勧奨通知を行った。電話勧奨を実施した約4,000人のうち、勧奨できたのは1,778人（44.5%）であり、勧奨できた者のうち受診承諾者（検討含む）は1,031人（25.8%）、未承諾者は228人（5.7%）であった。未承諾者の8割以上が健診を受けない理由として治療中であることを上げていることから、健診未受診者のうち一定の割合で治療中の者が含まれていると考えられる。
- ・受診率は近年伸び悩んでいるが、特に40代・50代の働く世代の受診率が低いため、効果的な勧奨方法の見直しや、インセンティブの導入等の対策が必要と考えている。
- ・特定保健指導は市内医療機関での実施に加え、業者委託による訪問型の保健指導の勧奨・実施を拡大し、令和元年度より1年間通して全ての対象者に実施したことにより、実施率は増加している。
- ・生活習慣病重症化予防による医療受診勧奨については、健診の結果から血圧、血糖、脂質のいずれかが基準値を外れており、医療機関の受診が確認できない者に対して、通知や電話で医療機関への受診を勧めたが、生活習慣病は重症化するまで症状が出ないことから、必ずしも医療機関への受診に結びついていない。

【今後の取組み方針等】

- ・特定健診の受診勧奨について、委託業者による電話勧奨と市作成のハガキ等により実施してきたが、目立った成果が得られないため、令和2年度は人工知能を活用し全国自治体の受診率を向上させた実績のある業者に委託し、個々の特性に応じた勧奨通知を受診勧奨の効果が高い対象者へ送付する予定である。また、健康意識の無関心層に対する対策として、魅力あるインセンティブの導入などを検討していく。
- ・特定保健指導については、引き続き医療機関での指導と業者委託による訪問型指導を並行して実施していく。特に訪問型指導は、1年間にわたり同一業者で実施することができるよう契約形態の見直しをはかる。
- ・医療受診勧奨については、引き続き症状に合わせたパンフレットを同封するほか、生活習慣病の恐ろしさを意識付けできるような効果的な勧奨方法を検討していく。

1 健康づくりと介護予防の充実

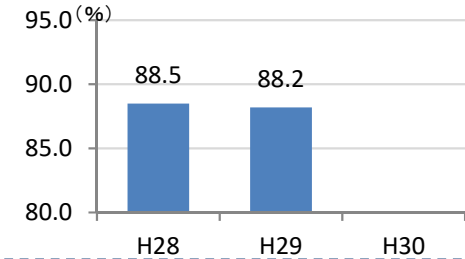
【目指す姿】

高齢になっても、一人ひとりが自分の健康状態に合わせた健康づくりや介護予防に取り組んでおり、心身ともに健康でいきいきと暮らしています。

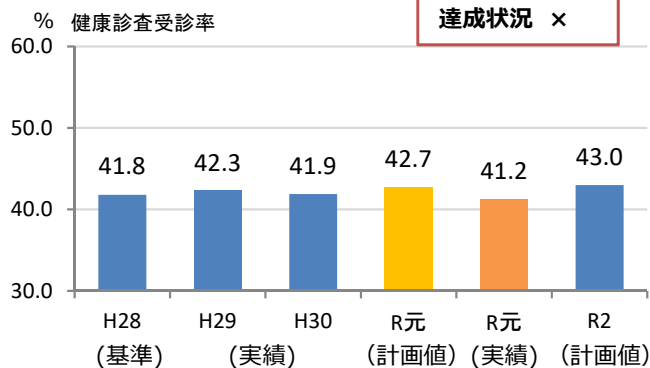
【目標値】

介護や支援を必要としていない
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

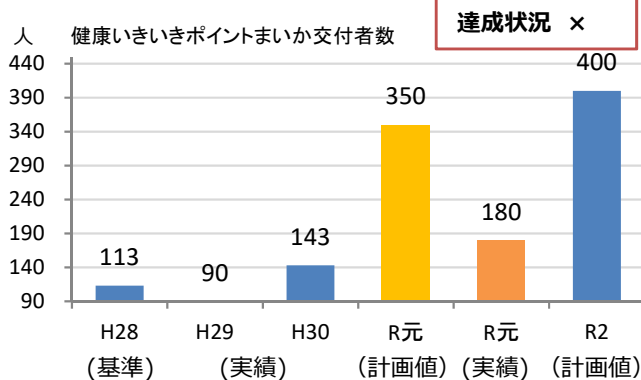


【取組み状況】

- ・後期高齢者においても、糖尿病等の生活習慣病を早期発見し、重症化予防を図るため、健康診査を実施した。
- ・受診率の高い年齢層として75～80歳が61.55%と高いことがわかり、現役世代からの受診習慣が高まっていると推測される。

【今後の取組み方針等】

- ・令和2年度から、国の医療、介護の一体的な取組みにより、後期高齢者の健康診査は、これまでの生活習慣病予防に加えて、フレイルの状態をチェックする質問票を作成し、運動や食生活、物忘れの有無など15項目に市独自の3項目を追加して、健康診査の受診券とあわせて郵送した。
- ・質問票の回答内容は、国保データベース（KDBシステム）に収載され、高齢者に必要な保健事業や医療機関受診へ繋げるよう関係部署と連携を図っていく。



【取組み状況】

- ・まいか協力店舗が増加するよう理容組合を通し43店舗、商工会青年部を通して70店舗、市内限定商品券取扱店舗333店舗等に協力依頼を実施した。その結果、まいか協力店舗が6店舗増加し、37店舗となった。
- ・市民がより分かりやすく、参加しやすくなるよう、令和2年度からのパンフレットを8ページから4ページに変更した。

【今後の取組み方針等】

- ・「ためよう！こまき健康いきいきポイント講座」の出前講座を新設し、事業目的とポイントの貯め方について周知する。
- ・保健連絡員や区の会合等、機会を捉えて周知・啓発を継続する。
- ・より魅力的なまいかとなるよう、引き続き、店舗等にまいか協力店の協力依頼を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策により、外出の機会が減り、また、生活リズムが不規則になりがちな状況であることを踏まえ、子ども版健康いきいきポイントを6月早々に配布したり、ウォーキングアプリJalkoを活用したチャレンジ事業を実施し、交付者数の増加を目指す。

1 健康づくりと介護予防の充実

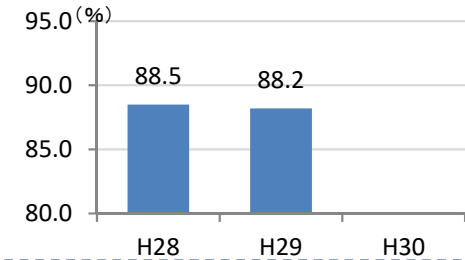
【目指す姿】

高齢になっても、一人ひとりが自分の健康状態に合わせた健康づくりや介護予防に取り組んでおり、心身ともに健康でいきいきと暮らしています。

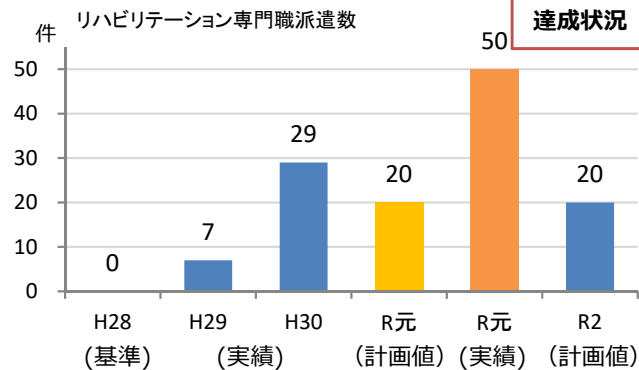
【目標値】

介護や支援を必要としていない
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

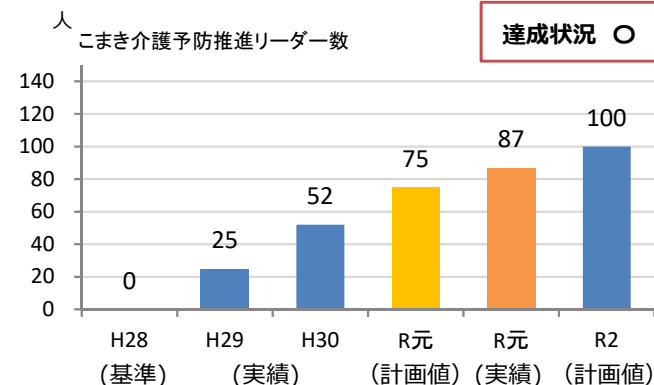


【取組み状況】

- ・昨年度に引き続き、地区の会館等で行っている集いの場（ふれあい・いきいきサロン等）における介護予防の充実に向けて、専門職を派遣した。
- ・令和元年度は、地区民児協の開催に合わせて、民生委員及び地域住民に対して歯科専門職による講座を開催した。その成果もあり、歯科専門職による派遣依頼が大幅に伸び20回となった。
- ・リハビリ専門職による派遣を29回、担い手向けの介護福祉士による講座を1回実施した。

【今後の取組み方針等】

- ・歯科専門職の派遣については、引き続き地域の集いの場において講座を開催する。
- ・リハビリ専門職については、単発の派遣を控え、週に1回継続的にこまき山体操に取り組む団体への支援（効果測定含む）をメインにした派遣とする。また、多職種カンファレンスの結果を踏まえ、リハビリ専門職に対し、通所や訪問における自立支援に関する取組みへの介入調整を行う。



【取組み状況】

- ・身近な地域における介護予防を推進するため、こまき介護予防推進リーダーを養成。
- ・令和元年度は、35名が修了した。「こまき山体操」の推進に重点を置き、介護予防の地区展開を目指した。

【今後の取組み方針等】

- ・地域における介護予防の取り組みの推進とともに、こまき山体操を活用した取り組みを推進していただけるリーダーを引き続き養成する。
- ・また、介護予防リーダーの振り返りの場を設けるとともに、他のリーダーやサロン代表者とのつながり作りも検討する必要がある。

1 健康づくりと介護予防の充実

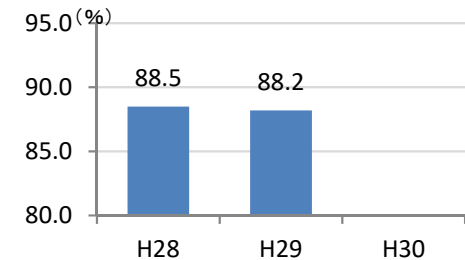
【目指す姿】

高齢になっても、一人ひとりが自分の健康状態に合わせた健康づくりや介護予防に取り組んでおり、心身ともに健康でいきいきと暮らしています。

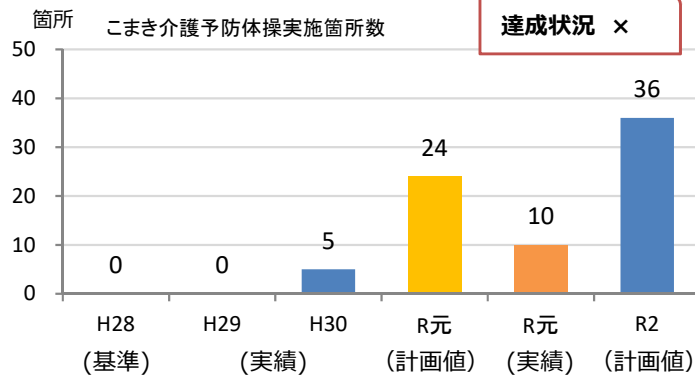
【目標値】

介護や支援を必要としていない
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・令和元年度は、こまき山体操を活用していただける団体として、体操指導員を対象にこまき山体操の体験会を行った。また、三ツ淵学区コミュニティ(小学生から高齢者までの幅広い世代を対象)に対し、体操の体験の機会を設けた。
・週1回：小牧原南、西コミ、久保、光ヶ丘、池新田
・月1回以上：春日寺、ふらみなサロン、小牧原西、堀の内(月3回)、ふれあいサーキット
これらの団体の継続的な実施に向けた支援が必要である。現状として継続的な体操の実施や取り組む団体の発掘には限界があり、今後の展開について検討が必要である。

【今後の取組み方針等】

・こまき山体操の取り組み推進のため、小牧市リハビリテーション連絡会に業務を委託し、体操を定例で体験できる学びの場を設ける。
・体操を継続的に実施できるよう、各団体を支援する。
・リーダー不在により体操の継続が困難な団体もあり、映像化の希望もいただいていることから、映像化し、普及啓発に努める。
・ケーブルテレビ等の媒体を活用し、広く啓発を図る。

【その他取組み状況】

・地域において、高齢者の集いの場は市内に順調に増えているものの、こまき山体操の定期的な実施の場等、予防に特化した地域の受け皿が不足しているのが現状である。
・また、お住まいの地域に関係なく、広域的に、虚弱な方が定期的に通い、身体機能向上のために活用できる場も整える必要がある。
・関係課を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、各課が行っている予防に関する取組みの整理について検討を行った。

【今後の取組み方針等】

・小牧市リハビリテーション連絡会に業務を委託し、定期的にこまき山体操を体験し、学びの場の提供を行うことで、参加者それぞれが持ち帰り、地域においてこまき山体操を活用した介護予防の推進につなげることを目指す。
・前年度に引き続き、健康や生きがいづくりからフレイル予防まで一貫した事業展開を推進するため、プロジェクトチームを設置し、調査、検討を行う。

2 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

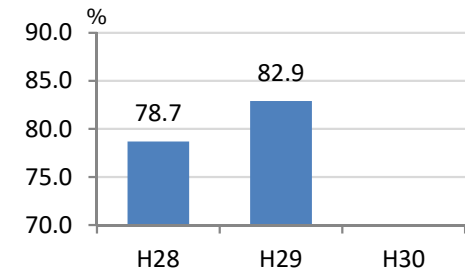
【目指す姿】

高齢者がいつまでも生きがいを持ち、生涯学習活動や地域におけるさまざまな活動が展開され、いきいきと自立した生活を実現しています。

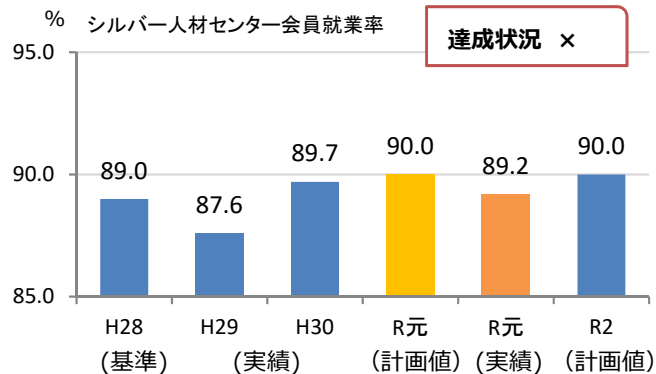
【目標値】

生きがいを持って生活している
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

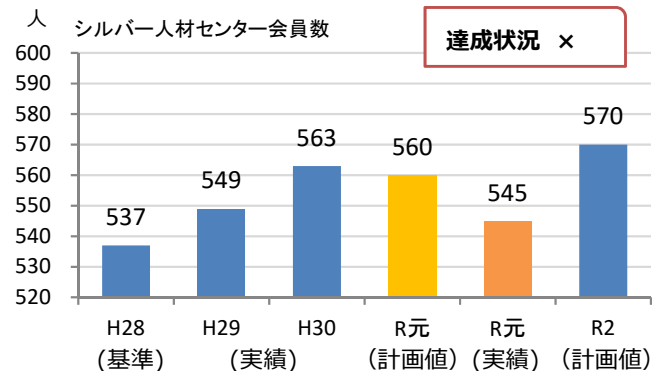


【取組み状況】

- ・長年の職業的経験や技能を活かしたいと望む60歳以上の方に対して、働く機会を提供するため、シルバー人材センターに補助金を支給した。
- ・シルバー人材センターの活動としては、会員の就業率を向上させるため、商工会議所が発行する刊行物にチラシを折り込み、企業に対して周知を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・シルバー人材センター会員の就業率を向上させるため、今後もシルバー人材センターへの補助を継続する。
- ・就業率の向上を目指し、新規事業（介護・ボランティア等）の開拓に努める。



【取組み状況】

- ・長年の職業的経験や技能を活かしたいと望む60歳以上の方に対して、働く機会を提供するため、シルバー人材センターに補助金を支給した。
- ・シルバー人材センターの活動としては、広報こまきや市ホームページで会員募集、案内チラシの全戸配布など、会員加入の促進を目指した。

【今後の取組み方針等】

- ・高齢者人口の増加に比例して就労意欲の高い方も増えることが予想されるため、就業先のさらなる確保を目標に、今後もシルバー人材センターへの補助を継続する。
- ・会員の高齢化が進んでいるため、若年層の会員を増やすことができるよう、今年度設置予定の市民交流テラスなどを活かして周知活動に努める。

2 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

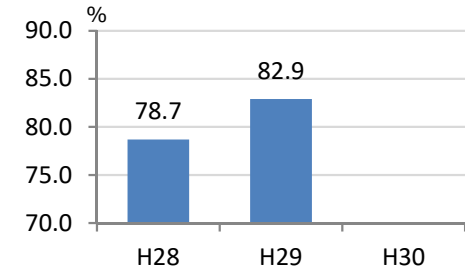
【目指す姿】

高齢者がいつまでも生きがいを持ち、生涯学習活動や地域におけるさまざまな活動が展開され、いきいきと自立した生活を実現しています。

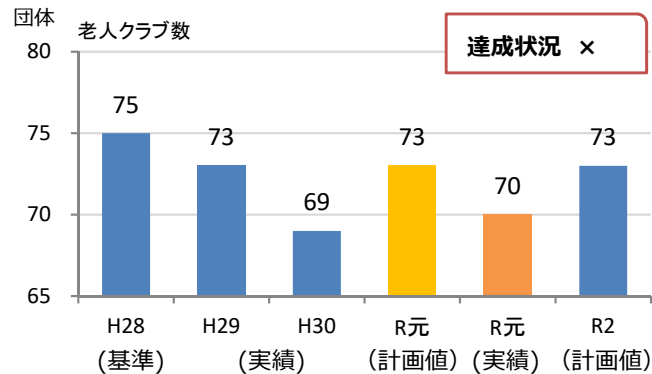
【目標値】

生きがいを持って生活している
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

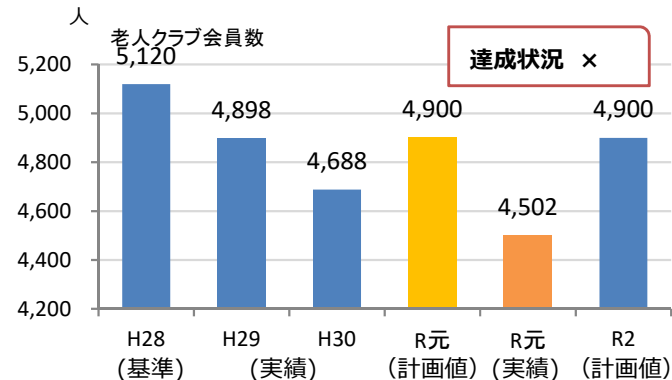


【取組み状況】

・老人クラブのクラブ数は横ばいである。

【今後の取組み方針等】

・60歳以上の方が社会奉仕活動等を行うための団体を支援するため、今後も老人クラブ連合会及び老人クラブへの補助を継続するとともに、新規会員加入促進のため、周知に努める。



【取組み状況】

・社会情勢の変化に伴い老人クラブへの若年高齢者の加入が減少したこともあり、老人クラブの会員数は微減傾向である。

【今後の取組み方針等】

・60歳以上の方が社会奉仕活動等を行うための団体を支援するため、今後も老人クラブ連合会及び老人クラブへの補助を継続するとともに、新規会員加入促進のため、周知に努める。

2 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

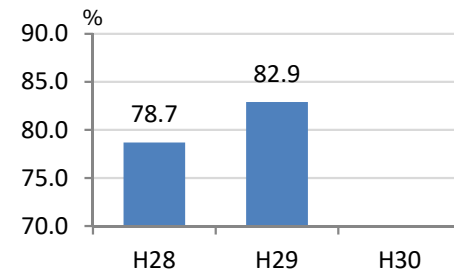
【目指す姿】

高齢者がいつまでも生きがいを持ち、生涯学習活動や地域におけるさまざまな活動が展開され、いきいきと自立した生活を実現しています。

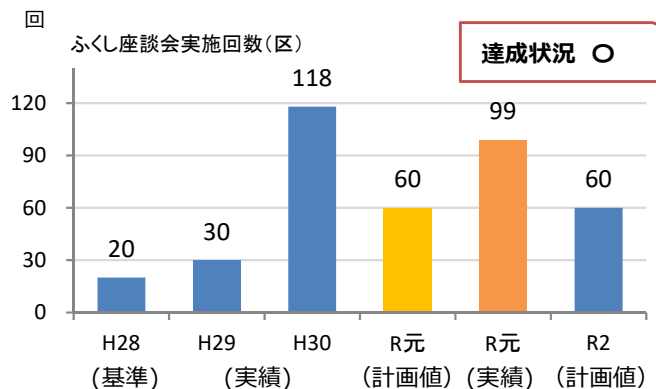
【目標値】

生きがいを持って生活している
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

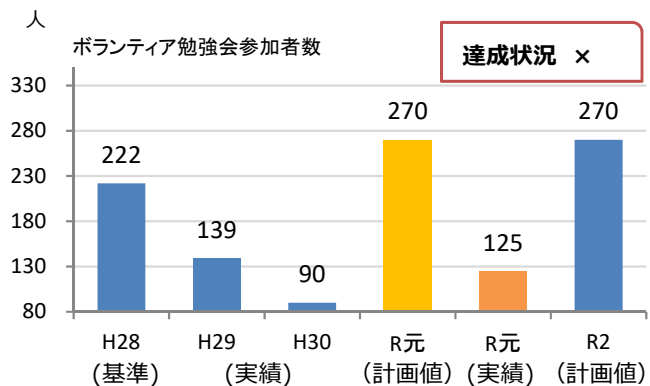


【取組み状況】

・ふくし座談会は、要支援者台帳を活用した見守り活動の付加価値を高めるため、今年度からモデル的に展開している「安心カプセル」の紹介と活用方法をテーマに開催。内容としては、避難行動要支援者台帳を活用した取り組みについての振り返りと体験機会として、要支援者の分類分けと安心カプセルの作成体験を実施した。

【今後の取組み方針等】

・小地域における要支援者台帳の活用を広く展開するため、安心カプセルの普及も通して、来年度の小地域の活動に結び付けていく。



【取組み状況】

・「ボランティアリーダーズスクール」とテーマを合わせた「言葉」「コミュニケーション」を重点に置き2回の勉強会を開催したところ、計125名の参加があった。
・本事業開始（H25～）からこれまでに、延べ1,000名を超える参加があり、ボランティアのスキルアップやモチベーションの維持に貢献している。
・計画値の半分も達成できていないことの要因は、勉強会の開催形式や回数、1回当たりの上限人数によるものと思われる。

【今後の取組み方針等】

・ボランティア勉強会については、ボランティアのニーズも踏まえて、講座を検討し、実施する。また、役員向けに開催していた「ボランティアリーダーズスクール」事業をボランティア勉強会に統合する。
・新型コロナウイルスによる影響から今年度も達成は難しいと思われるが、なるべく多くの方に参加してもらえようテーマ・開催形式・周知方法を検討する。

2 生きがいがづくりと社会で活躍できる場の充実

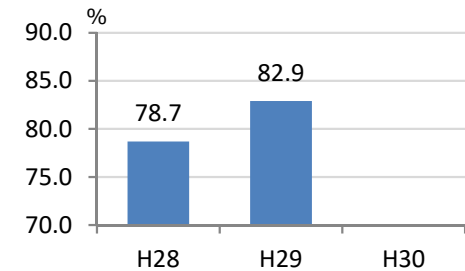
【目指す姿】

高齢者がいつまでも生きがいを持ち、生涯学習活動や地域におけるさまざまな活動が展開され、いきいきと自立した生活を実現しています。

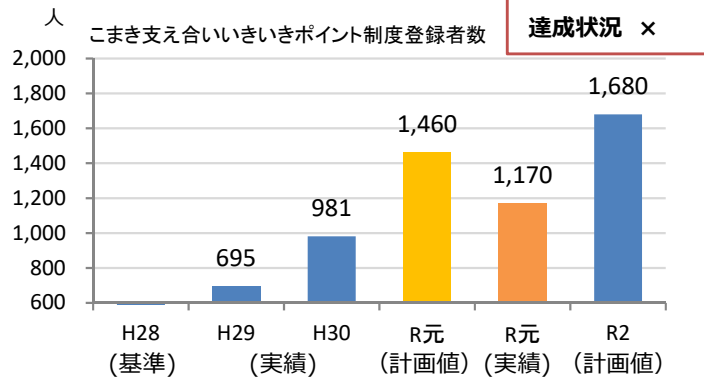
【目標値】

生きがいを持って生活している
高齢者の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標
H30年度調査（H29実績）で調査終了



【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・お互いさまサポーターから、早期に介護予防への参加を希望する声もあり、平成31年4月より介護施設ポイントの対象年齢を65歳以上から18歳以上に引き下げ、介護施設で活動する人の裾野を広げた。

・ポイント付与対象期間中に、取得ポイントが年間上限に達したお互いさまサポーターに対し、引き続き活動を継続していく励みになるよう、記念品※を贈呈した。

※障害者優先調達推進法に則り、授産所の物品を選択し、障がい者への間接的な支援として位置付けた。

・篠岡小学校区に続き、味岡小学校区地域協議会においても「あじおか おたすけ隊」を結成し、地域ポイントを活用した高齢者等の生活支援活動を開始した。また、大城小学校区、小牧原小学校区においても、2小学校区の例を参考に、意見交換や組織づくりがなされた。

【今後の取組み方針等】

・令和2年度は、地域ポイントを活用した高齢者等の生活支援活動がさらに広がるよう、地域協議会間での情報交換を行うなどして、横展開を図る。

・介護施設ポイントについては、対象年齢を65歳以上から18歳以上に引き下げたことから、研修会・勉強会等を通じて、若年層が参加しやすくなるようなきっかけづくりを行い、お互いさまサポーターの拡充を図る。

【参考】指標	H28	H29	H30	R元
地域3あい事業実施地区数	69地区	66地区	66地区	63地区
シルバースポーツ大会参加者数	601人	578人	541人	553人
校区スポーツ振興会実施校数	16校	16校	16校	16校